

江山地区義務教育学校設立準備委員会

(1)設置期間

平成30年8月27日～令和2年3月31日

※1～2か月に1回開催予定（現在は8回開催）

(2)推進事項

- ① 義務教育学校の教育課程及び学校運営等に関すること
- ② 施設・設備等の教育環境に関すること
- ③ 保護者及び地域住民等との連携及び連絡調整に関すること

(3)委員（鳥取市教育委員会が委嘱）

- ① 江山地区区長会からの推薦 3名
- ② 神戸小、美和小、江山中、美和保育園の保護者代表 11名
- ③ 神戸小、美和小、江山中、美和保育園の職員代表 11名

江山地区義務教育学校設立準備委員会

(4)委員長・副委員長

委員長	栗本保夫	(神戸地区区長会推薦)
副委員長	上田光徳	(美和小学校PTA会長)
	橋本伸一	(江山中学校校長)

(5)部 会

各部会で検討・協議したことを委員会に提案し、方針決定を行う。

① すごい！学校創造部会

⇒令和元年度から、3校の教職員が主体となり、

「小中連携委員会」を組織し、検討

② 教育環境整備部会

③ 江山の宝応援部会

※2つの部会は1～2か月に1回開催予定 (現在は6回開催)

すごい！学校創造部会

(1) これまでの検討内容

① めざす子ども像

【義務教育を終える段階(15歳)で身につけておくべき力は何か】

- 自ら学び、豊かに表現する子ども
- 思いやりの心を持ち、進んで人と関わる子ども
- 心も体も健やかに、たくましく生きる子ども

すごい！学校創造部会

(1) これまでの検討内容

② 学校教育目標

学びを自らの生き方につなげ、
未来を切り拓こうとする児童生徒の育成

○ 交流

- ・コミュニケーション力の育成
- ・地域づくり
- ・グローバル化社会への対応

○ 情報教育

- ・主体的な学びの育成
- ・超スマート社会に必要な力やスキルの育成

すごい！学校創造部会

(1) これまでの検討内容

③ ブロック制 4－3－2制
【江山ならではの特色ある教育】

- 期待できる点
 - ・基礎・基本の定着
 - ・一部教科担任制

すごい！学校創造部会

(2) 今後の予定

《今年度》

- 学校教育目標・校訓の策定
- カリキュラムの策定
- 新設教科について
- 生活時程について
- 通学方法について
- 学校行事について
- 開校に向けての3校の交流について
- 学用品について
- 部活動について 等

小中連携委員会

教育環境整備部会

(1) これまでの検討内容

① 校名の策定 ⇒ 鳥取市立「江山学園」に！

<校名の募集>

期 間：平成31年2月1日～平成31年2月28日

対象者：江山地区在住、江山地区出身、江山地区に「ゆかり」のある方

結 果：応募件数 240件

<校名案の選考>

【第一次選考】教育環境整備部会で、9つの候補名称を選考(3月)

【第二次選考】準備委員会で、3つの候補名称を選考(3月)

【校名案選定】市長に3つの候補名を報告し、「江山学園」を校名案として選定(4月)

【決 定】市議会において鳥取市立学校条例の一部改正案が採決され、正式決定(7月1日)

教育環境整備部会

鳥取市立「江山学園」

<選定理由>

「江山学園」は一番応募が多かったことと、「江山」という名前は、「江山美生英才」という江山中学校の建学精神に示されているように、自然豊かなこの地域をととてもよく表しており、今の中学校の校名に込められた思いや慣れ親しんだ名称を引き継いでいきたいという地域の思いが詰まっていること、また、小学校と中学校が一体となって義務教育学校になることをシンプルに表した、誰もが呼びやすく親しみがもてる名前であるため、これを校名としました。

<「江山学園」応募件数 ⇒ 50件>

【地域別内訳】 全て江山地区在住の方

【年代別内訳】 幼児1件、小学生20件、中学生27件、
30歳代1件、40歳代1件

教育環境整備部会

(1) これまでの検討内容

② 現美和小学校校舎の改修・増築に向けて

令和2年4月に義務教育学校として開校し、3校の児童・生徒が現美和小学校の仮設校舎で生活

- ➡ 現在の校舎を大幅に改修(長寿命化改修)し、特別教室棟を増築する。
- ➡ 長寿命化改修・増築工事が終了するまでは、仮設校舎を活用する。仮設校舎は、現美和小の校庭に設置する。
- ➡ 現在の管理棟、体育館はそのまま活用する。

教育環境整備部会

(2) 今後の予定

《今年度》

○校章募集開始(～8月30日)

決定までのプロセスの検討

 校章の決定(10月)

○校歌(～12月)

①「江山中学校校歌」

②江山中校区のオリジナルソング「輝く明日へ」

③作詞・作曲を特定の方に依頼

○改修・増築校舎の教室配置等の検討(～10月)

○情報教育環境整備

江山の宝応援部会

(1) これまでの検討内容

① 地域住民・保護者への情報提供について

- 「江山の明日」～義務教育学校設立準備委員会ニュース～を発行。 ※基本的に、2か月に1回発行
- 進捗報告会を開催する。
- 地域住民からの質問や意見をいただくために、各地区の公民館に「意見BOX」を設置する。

江山の宝応援部会

(1) これまでの検討内容

② 通学方法について

- 神戸地区の児童生徒のバス通学を見据え、ダイヤの改正が必要であれば、今年10月までにバス会社に要望する。
- 自転車通学の範囲について、今後は中学校において検討することを確認した。

③ 閉校記念事業について

- 閉校記念事業実施の有無も含めて、各校において、保護者・地域住民からのご意見をもとにして、検討を行うことを確認した。

江山の宝応援部会

(1) これまでの検討内容

④ 制服について

○ 準備委員会の保護者、3校・保育園の教職員の代表で組織される「制服検討委員会」で検討を行うことを確認した。(制服着用学年、新制服とするかどうか、デザイン等について検討)

※制服検討委員会 (全15名で組織)

準備委員会の保護者代表11名、3校1園の教職員4名

⑤ 学用品について

○ 体操服等の学用品については学校で決定することを確認した。

江山の宝応援部会

(2) 今後の予定

《今年度》

- 継続して情報提供を定期的に行う。
- 放課後児童クラブについて
- 学校応援団組織の設立を検討する。
- コミュニティ・スクール導入に向けての準備を行う。

先進地視察を行いました

三重県津市立みさとの丘学園（平成31年1月25日）

○参加者 委員5名

《学校の特徴》 3小1中を統合し、平成29年に義務教育学校として開校。児童生徒数280名程度。

《教育面》 「美里創造学習（地域学習と地域と共に学ぶ人権学習）」と「英語」を小中一貫教科的な学習として実施。小中教員の相互乗り入れ授業・複数教員による授業を実施。

《施設面》 中学校の校舎を活用ながら、小学校部分の教室棟を増築。図書室に、児童生徒の集会等にも活用できる階段が設置されていた。

先進地視察を行いました

京都府亀岡市立亀岡川東学園（平成31年2月6日）

○参加者 委員8名 江山中教職員1名

《学校の特徴》 1小1中を統合し、平成29年に義務教育学校として開校。児童生徒数250名程度。

《教育面》 後期課程において一部45分授業の導入（1・4・6・7校時）、小中教員の相互乗り入れ授業・複数教員による授業

《施設面》 旧小・中校舎とも50年以上経過していたため、中学校校舎を改築。「絆空間」という多目的ホールは、図書室を兼ねており、様々な集会や学習に活用できるだけでなく交流給食の場にもなっている。